

# 肝臓通信 Vo l.18

発行 田中内科クリニック 令和3年冬号



薬で肝臓が悪くなる？！

薬剤性肝障害のお話です

肝臓は、食物や薬物など様々な物質の代謝や解毒を行っている重要な臓器です。

薬物が原因で起こる肝臓の炎症を、**薬剤性肝障害**と呼びます。病院で処方された薬だけでなく、漢方薬や、健康食品、サプリメントなどでも起こり得ます。



## 薬剤性肝障害の症状は？

- ほとんどの方は症状がなく、軽度の肝障害が多いです。
- 大半はアレルギー性の肝障害で、中毒性は稀です。
- 肝機能障害が強かったり、長引いたりすると、かゆみで発症する場合があります。
- 放っておくと重症化し、黄疸や脳症、命に関わる「**劇症肝炎**」を起こす場合もあるので、早めの対処が大切です。

## 早期発見と早期対応のポイント

- 薬剤性肝障害は誰にでも発症する可能性があります。
- 薬や健康食品を使用していて、かゆみ・倦怠感・発熱・黄疸・発疹・吐き気・嘔吐といった症状が出現したり続く場合は、医師にご相談ください。
- 受診する際には、飲んだお薬の種類・いつ飲んだのか・症状とその程度などをお伝えください。
- 他の病院から出されたお薬や、健康食品・サプリメントを摂取してる場合はおくすり手帳を持参して必ず医師にお伝えください。
- 飲み合わせの確認も大切ですので、おくすり手帳を活用しましょう。
- 薬、サプリメント、健康食品を常用する際は、定期的な肝機能検査を行う必要があります。



## 治療

- ◎原因の薬剤を中止します。
- ◎肝機能を改善させるための治療をおこないます。



処方されているお薬がどのような効果・副作用があるのかを理解しておくことが大切です！

## 薬剤性肝障害へのアドバイス

- ・肝臓は「**解毒**」という大切な働きをしています。
- ・薬は病気を治すために必要なものですが体にとっては**異物**です。  
飲んでる薬は、肝臓で解毒されます。アルコールも異物です。
- ・歳を取るとともに病気も増えてきますが、薬の種類(数)も増えてきます。  
肝臓での解毒作業も増えてきますので、できるだけ服薬する薬を減らしたいものです。
- ・薬は病気の治療に必要なものですが体に合わない場合があります。  
主治医と相談しながら安心して服薬を続けてください。



院長  
田中 延善